

患者さまへ

新型コロナウイルス感染症患者の予後予測及び治療評価に関わる

多施設共同観察研究

この研究は、通常の診療で得られた記録や残存検体を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

2020年1月から2025年12月31日までに、湘南鎌倉総合病院、横浜市立大学附属病院救急科、横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センターにより診療が行われた方のうち、新型コロナウイルス感染症と診断された患者さまが対象となります。

2. 研究目的・方法

この研究を行う目的は、横浜市立大学附属病院救急科を中心に行われた『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者を対象とした診断、治療および予後予測に有用な画像および生物学的マーカー同定に係る探索的多施設共同観察研究』という研究で同定された予後因子を用いて予後予測モデルを構築検証し、医療の質を向上させることです。

そのため、通常診療で得た診療情報や通常診療の際に残った検体（血液）を用いて解析します。

研究期間：施設院長承認後 ～ 西暦 2027 年 12 月 31 日

3. 試料・情報の利用拒否

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

通常診療で得た診療情報として、

年齢、性別、体重、身長、人種、既往歴、アレルギー歴等、意識レベル、血圧（収縮期、拡張期）、脈拍、体温、呼吸数、血液検査結果・画像検査結果等、診療で行った検査の結果を収集します。

また、検体としては、血液を用いて解析します。

5. 外部への試料・情報の提供

他の研究機関に試料・情報を供与する場合があります。その際は個人情報 that 特定できないように削除します。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、当センターの個人情報管理者が保管・管理します。

6. 研究組織

【主たる研究機関】

横浜市立大学附属病院 救急科 竹内 一郎

【研究参加機関】

横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 竹内 一郎

湘南鎌倉総合病院 集中治療部 小山 洋史

【既存の試料・情報提供のみを行う機関】

横浜医療センター	救命救急センター	古谷 良輔
横浜市民市民病院	救命救急センター	伊巻 尚平
横浜南共済病院	救命救急センター	松本 順
済生会横浜市南部病院	救命診療科	豊田 洋
横須賀共済病院	救命救急センター	土井 智喜
横須賀市立うわまち病院	救命救急センター	本多 英喜

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当院研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 集中治療部 小山洋史

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

TEL:0467-46-1717(病院代表)

研究代表者：

横浜市立大学附属病院 救急科 (研究責任者) 竹内 一郎

研究事務局の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 救急科 (研究責任者) 竹内 一郎

電話番号：045-787-2800 (代表)

(2023 年 1 月 18 日作成 (第 1.2 版))